

「JAPAN NEXTキャンペーン」(中国・米国・ロシア・韓国)の実施について

内閣官房知的財産戦略推進事務局では、「知的財産推進計画2011」(平成23年6月3日知的財産戦略本部決定)のクールジャパン戦略の一環として、クールジャパン及び海外からの震災復興への支援に対する謝意を発信するため、世界各国において「JAPAN NEXTキャンペーン」を展開します。

3月下旬に開催されるイベントの概要は以下のとおりです。

1. 中国における風評被害解消のためのファッションショー

開催日程：平成24年3月23日(金)

会場：中国／上海／800show

イベント概要：流行への感度が高い上海で、高感度なファッションをリードする日本アパレル・ファッション産業協会と日本独自の高品質な素材に関わる日本化学繊維協会と連携し、先端の日本ファッションを紹介し、日本の食やコンテンツなどの魅力を紹介するパネル展示等による情報発信を行います。(参考1参照)

2. 米国及びフランスにおける日本の「匠」によるクールジャパン発信
(ニューヨーク出展分)

開催日程：平成24年3月23日(金)～25日(日)

会場：米国／ニューヨーク／Museum of Arts and Design

イベント概要：日本が誇る「匠」を伝える重要無形文化財保持者(人間国宝)の伝統工芸(陶芸、染織、漆芸、金工、木竹工)を展示します。また、華道や竹工芸のパフォーマンス等を通じた日本の伝統文化の体感、日本の伝統文化や産品などの魅力を紹介する映像による情報発信を行います。(参考2参照)

＜参考＞ 「JAPAN NEXTキャンペーン」に関する情報を集約したウェブサイトを設置しております。(URL：<http://www.jp-event.jp/>)

【連絡先】

内閣官房知的財産戦略推進事務局 担当：箆島、塚本、安川、志村
電話 03-3539-1801(代表)

3. 中国における日中文化交流シンポジウム

開催日程：平成24年3月24日（土）

会場：中国／北京／中国科学院学术会堂

イベント概要：日中40周年の節目にあたる今年、日中両国の政府関係者、メディア関係者、生活文化産業の事業者が集まり、シンポジウムを開催し、日中の協力関係を深めます。また、日本の食やコンテンツなどの魅力を紹介するパネル展示や映像等による情報発信を行います。（参考3参照）

4. 米国における日米寄贈100周年日本文化発信

開催日程：平成24年3月24日（土）、25日（日）

会場：米国／ワシントン／市内各地

イベント概要：今年、日米友好の発展を願い日本から米国に桜を寄贈して100周年を迎えます。桜寄贈100周年を記念し、日本人が初めて米国特許を取得した昼花火の復活の紹介やタイダルベイスン地区で日本風庭園を加えた景観づくりを行います。また全米桜祭りと連動し、東北大学ジャズオーケストラによる震災復興への思いを含めた演奏会やオープニングセレモニーで「クールジャパン」を紹介し、日本の魅力を世界に発信します。（参考4参照）

5. ロシアにおけるポップカルチャー・伝統文化発信

開催日程：平成24年3月25日（日）

会場：ロシア／モスクワ／キノコンサートホール ミール

イベント概要：日本の伝統楽器である津軽三味線の奏者、“上妻宏光”のコンサートをはじめ、日本が世界に誇る最先端技術の1つである、VOCALOIDによって生まれたバーチャル・アイドル歌手、“初音ミク”のテクノロジープレゼンテーションとビジュアルコンサート、“L'Arc~en~Ciel”のフィルムコンサートを開催します。さらに、東日本大震災によって被害を受けた日本に対し、海外から寄せられた支援に対する感謝の気持ちと日本の食、コンテンツ、ファッション等の魅力をご紹介します。（参考5参照）

6. 日本とアジア・オセアニアの大学の連携による風評被害対策シンポジウム

開催日程：平成24年3月27日（火）

会場：韓国／ソウル／延世大学

イベント概要：日本と韓国の大学が連携し、文化的な側面から次世代の日韓関係の展望や東アジアの発展の中で両国が担っていく役割について議論します。さらに、両国学生の視点から両国の文化が持つ潜在的な魅力や、今後の可能性について議論を行います。また、日本の食やコンテンツなどの魅力を紹介するパネル展示等による情報発信を行います。（参考6参照）

1. 中国における風評被害解消のためのファッションショー

① JAPAN NEXT ファッションショー in 上海

中国最大のファッション都市上海で、高感度なファッションをリードする日本アパレル・ファッション産業協会と日本独自の高品質な素材に関わる日本化学繊維協会と連携し、最先端の日本ファッションを紹介します。

<特別協力>

日本アパレル・ファッション産業協会(JAFIC)

日本最大規模の業界団体であり、ジャパンファッションを世界へ発信するさまざまな支援事業を推進するとともに、有望なクリエイターを発掘・育成するような産学連携プロジェクト等、日本のファッションビジネスを支える活動に取り組んでいます。

日本化学繊維協会(JCFA)

世界最先端の化繊メーカー17社で構成され、TOKYO FIBER展(東京、パリ、ミラノ)やtokyoeeye tech(上海)などのイベントを通じ、広く日本の優れた化学繊維を発信しています。

<出演者>



富永愛 (とみながあい)

15歳でモデル・デビュー以来、内外のSHOW、雑誌、広告等で活躍を続けるトップ・モデル。2001年第45回FECモデルオブザイヤーをはじめ、現在まで数々の賞を受賞。

<出展ブランド>

mastermind JAPAN

1997年、ヨウジヤマモト出身の本間正章が、藤田昌洋と共同でスタートさせたブランド。スカルをトレードマークとしたコンセプチュアルなリアルクローズを、2000年の東京コレクションを皮切りに発表。以降、海外でも積極的に作品を発表している。

SOMARTA

デザイナーの廣川玉枝は、イッセイミヤケのもとで8年間、ニットデザイナーを務めた経験を持つ。2007年春夏より、東京コレクション・ウィークに参加。サウンドや映像表現を駆使した、ファンタジックでドラマティックなコレクション展開でも、高い評価を得ている。

ADEAM

NY育ちの前田華子氏がデザインを手掛けるADEAMのブランドのコンセプトは「伝統と革新の融合」。わびさびの心をベースとしながら、NY暮らしで培った新たなスピリットを加味した、伝統美とモダンな感性を融合したテイストが持ち味のブランド。

②クールジャパンに関する映像・パネル展示

【会 場】 800SHOW (3月23日)
(上海市静安区常德路800号)



2. 米国及びフランスにおける日本の「匠」によるクールジャパン発信

①日本が誇る「匠」を伝える優れた伝統工芸の展示

<陶芸>	吉田 美統（釉裏金彩花唐草瑞鳥飾皿）	鈴木 藏（志野茶碗）
<染織>	森口 邦彦（友禅われもこう）	佐々木 苑子（紬織絵絣帯「満天夜」）
<漆芸>	室瀬 和美（蒔絵螺鈿硯箱「椿」）	小森 邦衛（曲輪造籃胎食籠）
<金工>	中川 衛（象嵌朧銀花器「窓明」）	田口 壽恒（鍛朧銀舟形鉢）
<木竹工>	村山 明（櫨拭漆盛器）	勝城 蒼鳳（千筋曲線文盛籃「筥」）

②日本の伝統文化の体感（華道・竹工芸パフォーマンス）

<出演者>



竹工芸 田辺 小竹(たなべ しょうちく)

三代竹雲斎の次男とし大阪に生まれる。東京芸術大学美術学部で彫刻を専攻。在学中は黒竹を用い竹の彫刻を制作。卒業後、大分県の竹工芸訓練支援センターで竹の編組、デザインなどを学ぶ。その後、父三代竹雲斎のもと竹工芸を学ぶ。2006年「田辺小竹」(たなべしょうちく)を襲名。代々の技術を学びながら、伝統的な竹工芸からバンブーアートとして新しい命を吹き込み、国内外から高い評価を受けている。



いけばな小原流 小原 宏貴(おはら ひろき)

いけばな小原流の五世家元。6歳にして家元を継承し、2010年大学卒業を機に本格的に活動をはじめ。現在、小原流研究院院長、財団法人日本いけばな芸術協会常任理事、兵庫県いけばな協会理事。2012年3月には、初の個展「FLOWER & SPACE いま - 空間の花 - そして 小原宏貴展」を日本橋高島屋にて開催予定。21世紀を担う若き家元として、今後の活躍が期待されている。

③クールジャパンに関するパネル・映像展示

【会 場】

Museum of Arts and Design(MAD) (3月23-25日)

アート&デザイン美術館

(2 Columbus Circle New York, NY 10019)

現代アート、デザイン、クラフトに焦点をあてた美術館。
1950年から現在に至る世界中のアート、デザイン、クラフト作品を常設展示。



3. 中国における日中文化交流シンポジウム

①国際シンポジウム 中国の生活革命と日本の魅力の再発見ー深めよう日中の絆ー

日中の政府関係者、生活文化産業の事業者などによるプレゼンテーション及びパネルディスカッションの実施。

<出演者>



周牧之（しゅう ぼくし）

東京経済大学教授

1963年生まれ。中国国家機械工学部(省)勤務の後、日本留学。日本開発構想研究所研究員、国際開発センター主任研究員、財務省財務総合政策研究所客員研究員、ハーバード大学客員研究員、マサチューセッツ工科大学客員教授を歴任。現在、対外経済貿易大学(中国)客員教授を兼任。



杉本和行（すぎもと かずゆき）

みずほ総合研究所理事長
元財務省事務次官

1950年生まれ。財務省入省後、一貫して要職を歴任。2000年内閣総理大臣秘書官、2007年財務省主計局長を経て、2008年に財務事務次官。2010年に東京大学公共政策大学院教授。2011年から現職。



角川歴彦（かどかわ つぐひこ）

株式会社角川グループホールディングス
取締役会長
知的財産戦略本部本部員



佐藤守正（さとう もりまさ）

株式会社エフピコ
代表取締役社長兼最高執行責任者(COO)



谷口元（たにぐち はじめ）

エイベックス・ミュージック・パブリッシング株式会社
代表取締役社長
知的財産戦略本部コンテンツ強化専門調査会委員
一般社団法人日本音楽出版協会会長
一般社団法人音楽産業・文化振興財団副理事長



小手川大助（こてがわ だいすけ）

元IMF日本代表理事
キヤノングローバル戦略研究所 研究主幹



安斎隆（あんざい たかし）

元日本銀行理事
株式会社セブン銀行代表取締役会長



宮島 和美（みやじま かずよし）

株式会社ファンケル
代表取締役会長執行役員

②クールジャパンに関するパネル・映像展示

【会 場】 中国科学院学術会堂（3月24日）
（北京市海淀区中関村北一条15号）



4. 米国における日米桜寄贈100周年日本文化発信

①昼花火復活の紹介 (3月25日)

ポトマック河畔で日米桜寄贈100周年の祝賀として、震災復興を祈念する日本の昼花火(※)を披露。

(※)1883年、故平山甚太氏が日本人で初めて米国の特許を取得した「昼花火」を復元。



②クールジャパンメッセンジャーによる全米桜祭りオープニングセレモニーでの桜寄贈100周年への祝辞と東日本大震災への支援に対する謝意 (3月25日)

＜クールジャパンメッセンジャー＞



MISIA

日本を代表するR&B女性歌手。1998年のデビュー以来、「Everything」や「逢いたくていま」、「MAWARE MAWARE」など数多くの名作がある。また、これらの作品に加え、東日本大震災の復興応援メッセージソングである「明日へ」を発表。5オクターブを誇る音域と圧倒的な歌唱力は、多くの観客を魅了し、海外でも高く評価されている。

ー2012年日米桜寄贈100周年についてー

2012年は、日本が桜を米国に寄贈、植樹してから100周年を迎える。例年、全米桜祭りは2週間にわたり開催されるが、今年は桜寄贈100周年を祝し、期間を5週間に拡大して開催。

＜②実施会場＞ **Walter E. Washington Convention Center**

(801 Mount Vernon Place, NW, Washington, DC 20001)

③震災復興へ向けた演奏会 (3月24日)

東北大学ジャズオーケストラによる震災復興への思いを込めた演奏会を、全米桜祭協会主催のファミリーデーで開催。

＜出演者＞



東北大学ジャズオーケストラ

創部当初からの地道な活動が実を結び、2008年、結成5年目で山野ビッグバンドジャズコンテスト本選へ出場。以後今年で4年連続4回目の出場を達成。現在、約50名の部員で活動中。

④クールジャパンに関する映像・パネル展示 (3月24日・25日)

＜③④実施会場＞ **National Building Museum**

(401 F Street NW, Washington, D.C. 20001)



5. ロシアにおけるポップカルチャー・伝統文化発信

①上妻宏光のライブステージ



三味線プレイヤー 上妻宏光（あがつまひろみつ）

1973年茨城県出身。6歳より津軽三味線を始め、幼少の頃より数々の津軽三味線大会で優勝を重ね、純邦楽界で高い評価を受ける。ジャズやロック等ジャンルを超えたセッションで注目を集め、1st・6thアルバムは「日本ゴールドディスク大賞」を受賞。マーカス・ミラー、ハービー・ハンコックなど海外アーティストとの共演も多く、日本の伝統楽器と西洋の音楽との融合を行うなど独自のアプローチで高い評価を得ながら、“津軽三味線の伝統と革新”を追求し続けている。

②初音ミクによるビジュアルコンサート



ill. by KEI © Crypton Future Media, Inc. www.crypton.net

Virtual Singer 初音ミク（はつねみく）

チャーミングで、伸びやかに天まで登るような高音域、清楚で可憐な中高音域がとても魅惑的。日本が世界に誇る最先端技術の1つである、VOCALOIDによって生まれたポップでキュートなバーチャル・アイドル歌手、“初音ミク”のテクノロジープレゼンテーションとビジュアルコンサート。

③ L'Arc〜en〜Cielによるフィルムコンサート

ロックバンド L'Arc〜en〜Ciel

国内のミュージック・シーンを代表する、名実ともにNo.1ロック・バンド。昨年バンド結成20周年を迎えロシアにも多くのファンを持つ「L'Arc〜en〜Ciel」のフィルムコンサート。ロシア初公開となるライブ映像を上映。

④クールジャパンに関するパネル・映像展示

【会 場】 キノコンサートホール「ミール」（3月25日）
Киноконцертный зал “Мир”
 (Tsvetnoy Boulevard, 11 строение 2)



6. 日本とアジア・オセアニア地区の大学の連携による風評被害対策シンポジウム

■KOREA NEXT, JAPAN NEXT

～新しい東アジア世界の創造における日本と韓国の若者の役割～

タイ、オーストラリアに続き、日本と海外の大学の連携によるシンポジウムを韓国で開催。韓国では、東日本大震災後1年をふまえ、東アジアの持続的発展のために、両国の若者が担っていく役割について議論します。また、ワークショップでは、立命館大学、立命館アジア太平洋大学、延世大学の学生が「クールジャパン」「クールコリア」の魅力について意見交換を行います。

①シンポジウム:「東日本大震災後の日韓関係とその発展のために」

<登壇者>



川口 清史
(KIYOFUMI KAWAGUCHI Chancellor)
立命館総長



ジョン・カップヨン
(Jeong Kap Young President)
延世大学総長



藪中 三十二
(MITOJI YABUNAKA
"Tokubetsu-shohei" Professor)
立命館大学特別招聘教授
1969年外務省に入省。シカゴ総領事、外務省アジア大洋州局長、外務審議官等を経て、外務事務次官を歴任。韓国大使館勤務の経験を持つ。2010年退官後は、外務省顧問、立命館大学特別招聘教授に就任。



キム・キジュン
(Kim Ki Jung Ph.D.)
延世大学社会科学学部政治外交学科教授
平和・安全保障学、北アジア地域学、韓国の外交政策と朝鮮半島統一学、東アジアの国際歴史学、アメリカの外交政策と米韓関係などを研究。

<コーディネーター> キム・サンジュン (Kim Sang Joon Ph.D.) 延世大学東西地域研究センター所長

②日本文化紹介エリア／JAPAN NEXT, COOL JAPAN

日本食の提供、クールジャパンに関するパネル・映像展示を実施。

③立命館大学、立命館アジア太平洋大学、延世大学の学生によるワークショップの実施

学生ワークショップ:「日本と韓国の『ソフトパワー』:文化交流と国際社会における私たちの役割」

【会 場】 延世大学 (Yonsei University) (3月27日)

【協力大学】



立命館大学 (Ritsumeikan University)

1900年に京都に創立された伝統的な私立総合大学。京都と滋賀のキャンパスに13学部17研究科を擁し、2015年に大阪に新キャンパスを開設予定。国の国際化拠点整備事業である「グローバル30」の採択校であり、約1,200名の正規留学生が学ぶ。



立命館アジア太平洋大学 (Ritsumeikan Asia Pacific University)

2000年に大分県別府市に開設された、日本初の本格的な国際大学。約5,800名の学生のうち半数が世界78カ国・地域から集まった留学生。アジア太平洋、国際経営の2学部があり、キャンパスでの授業も生活も、日本語と英語の2言語で行われる。



延世大学 (Yonsei University)

1885年に設立された、韓国を代表する私立大学。キャンパスはソウルの経済、文化、政治の中心地に近く、広く美しい自然に恵まれた立地で大学付近は学生街としても有名である。3キャンパスを展開し、学生数は約38,000人。

一両大学の交流について

延世大学と立命館大学は、1993年に学生交換協定、協力協定を結び、学生の交換留学を行っている。また立命館アジア太平洋大学は、1998年に協力協定、2003年に学生交換協定を結んでいる。